

# 学校だより



平成30年度 第3号

下野市立南河内中学校  
発行者 日下田 英彦  
H30. 4. 19

## 4月の俳句 花摘みの畑を彩る春の風

小滝奈津江

新学期が始まり2週目となりました。生徒達は欠席や体調不良も少なく、いいスタートを切ったのではないかと思います。しかし、特に1年生は中学校の生活のリズムにとまどい、疲れが出てくる時期でもあります。また、学校生活のなかで困ったこともできることもあると思います。我々教職員も、学校でのお子さんの様子をよく見ていきますので、ご家庭でもお子さんの生活をよく見ていただいて、何かありましたら遠慮なく、学校までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

### 1 専門委員長、学級委員長が決まりました

平成30年度前期生徒会専門委員長と前期学級委員長・副委員長が決まりました。4月18日(水)に任命式を行いました。委員会活動や各学級の中心として活動してくれる委員長の皆さんには、活発で自主的な活動を期待しています。

前期生徒会専門委員長	副委員長
学年学級委員長 3-3 高橋 和偉	3-1 久保谷 巧 2-1 鈴木 優彩
保健委員長 3-1 羽生 結愛	3-2 田口 愛結 2-1 青木 慧
広報委員長 3-2 高田 真羽	3-1 伊澤 賢太 2-2 小島 悠暉
図書委員長 3-2 嶋田 和也	3-3 海老原大介 2-2 保坂 明寿
福祉委員長 3-1 野澤 碧	3-3 和泉 帆高 2-1 角田 将也
給食委員長 3-2 舘野 花梨	3-1 坂本羽津希 2-1 須藤 漱太
生活委員長 3-3 小口 蓮	3-2 一木 彩那 2-1 杉山 紗絵

前期学級委員長	副委員長
1-1 飯野 妃香	野澤 悠介
1-2 伊澤 怜音	直井くるみ
2-1 鈴木 優彩	高梨 薫
2-2 秋山 竜輝	杉田 恵都
3-1 久保谷 巧	鷗 ましろ
3-2 五月女大悟	森下 彩那
3-3 秦野 梓沙	高橋 和偉



### 2 下都賀支部大会結果

4月14日(土)から、競技ごとに下都賀支部大会が始まりました。14日(土)は剣道部とソフトテニス部男女の団体戦が行われました。校長、教頭とそれぞれ応援に行きましたが、どの会場でも、元気な生徒の姿を見ることができました。また、多くの保護者の皆さまに応援やお子さんの送迎をいただきましてありがとうございました。今回は結果の報告だけになりますが、機会がありましたら、試合の様子など写真でもお知らせしたいと思います。

#### 下都賀支部大会結果 4月14日(土)分

○剣道部 男子団体 3位 女子個人 2回戦敗退

○ソフトテニス部 男子団体 優勝 女子団体 5位

※なお、15日(日)に予定のソフトテニス部の個人戦は21日(土)に延期になりました。また21日(土)からは、野球部、バドミントン部の大会も予定されています。

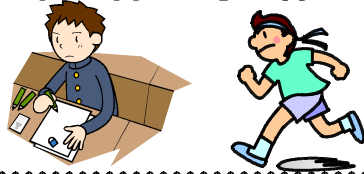
### 3 学校教育目標と学校経営方針（抜粋）をお知らせします。

5月2日（水）、授業参観、PTA総会では大変お世話になります。保護者会では、話す時間がほとんどとれませんので、本年度の学校教育目標と学校経営方針（抜粋）を紙面でお知らせします。学校教育目標は、小中一貫教育の推進および義務教育学校の開校にむけて、本年度から、学区内の4小中学校で統一しました。同じ目標のもとで、9年間のねらいをもって子ども達を育てていくという方針です。保護者の皆様にも学校の目指す取り組みについてご理解いただきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

#### 学校教育目標

ふるさとを愛し、夢に向かって高め合える子を育む

- ・すすんで学ぼう
- ・心をみがこう
- ・体を鍛えよう



真剣に入学式の準備をする生徒

#### 目指す生徒像

- ・自ら学んで互いに高め合える子
- ・心豊かで助け合える子
- ・健康でたくましい子

#### 目指す学校像

- ・学ぶ楽しさを育む学校
- ・豊かな人間性を育む学校
- ・健康で生きる喜びを育む学校

#### 学校経営方針（基本方針）

- (1) 学力の向上に向けた学習指導法の工夫・改善
  - ①自ら考える力を育成し、基礎・基本、知識・技能の定着を図る。
  - ②個の考えを引き出す授業形態の工夫改善を図る。
- (2) 自立的な学習習慣の確立
  - ①家庭との連携を図り、家庭学習の確実な習慣化を図る。
  - ②外部人材との協働による学習等支援の充実を進める。
- (3) 基本的な生活習慣、人権感覚の育成
  - ①柔軟なあいさつ、時間の励行など基本的な生活習慣を身に付けさせる。
  - ②生命を尊重する心や思いやりの心の育成を図り、人権感覚の育成を推進する。
- (4) 生徒指導の充実
  - ①教育活動全体を通して「豊かな心」を育むとともに道徳の時間の充実を図る。
  - ②「生活のきまり」を活用し、組織的な教育相談と生徒指導に努める。
- (5) 健康管理、学校行事・社会体験活動の充実
  - ①保健指導を通し心身の健康管理や体力の向上を図る。
  - ②学校行事・社会体験的な活動や勤労・奉仕活動を充実させる。
- (6) 自分の生き方を考えるキャリア教育の充実
  - ①進路決定に生きて働くキャリア教育を充実させる。
  - ②職場体験等の実践によりコミュニケーション能力を育成する。
- (7) 義務教育学校開校にむけての小中一貫教育の推進
  - ①9年間を見通した指導のための各種計画の整備を進める。
  - ②小中の連携により英語教育、国際理解教育およびふるさと学習の推進を図る。



学び合い学習する授業の形態の例



1年職業人に学ぶから



小中交流の例

